

ささゆり

令和6年1月21日
発行 南蟹谷交流センター
〒939-1603 南砺市砂子谷 1500
TEL 58-1333
メールアドレス minamikandani.kmn@gmail.com

当たり前の日常に『感謝』

スマホから交流センターにつながります

地域づくり協議会長 戸成 博宣

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ・・・といった正月気分真っ只中の元日午後4時10分。家中がきしみ大きな揺れが！とても長い時間に感じられ、これまでにない大きな地震と分かったものの、動けずただうずくまるだけ。能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7。その後「令和6年能登半島地震」と命名されるほどの大地震。南砺市でも震度5強や5弱。南蟹谷地区でも土砂崩れ、道路の亀裂・陥没や崩落、墓石の倒壊やズレなど、様々な災害が発生しました。当地区ですらこうした状態だったので、能登では津波も発生し、さぞ大変だったろうと心が痛みます。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族と被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

今年の正月は、近所の人と初めて顔を合わせて「おめでとうございます」のあいさつよりも先に「大丈夫やった？」という言葉が、お互いの口から出たことと思います。そして、棚から物が落ちて足の踏み場もないけど、「お互い何もなくよかったね。」と無事を喜び合われたことでしょう。

当地区では、地震発生後から消防団の方々が消防車で巡回され、安全の確保に当たられました。当日の夜、交流センターを避難所として開設したところ、3名の方が一時避難されました。その際、市から当地区在住の担当者が派遣され、市との情報共有や連絡に当たっていただきました。また、消防団の方々も安全を守るために夜通し常駐してくださいました。お陰で、避難所としても心強いサポートとなりました。

これまで台風や豪雨の際には「100年に一度の災害」という言葉はよく耳にしました。今回の地震で輪島市の海岸では、最大約4mの隆起が見られ、これは6000年で最大の規模だそうです。こうなると、正に「いつ、何が起こるか分からない。」ということになります。そして、こうした災害が起きるたびに思うのは、「当たり前の日常が何より一番」ということです。

当協議会としても、今年は防災・減災に重点を置き、「万が一の時のため、安全・安心でいられるためにはどうすればいいのか」具体的に取り組んでいきたいと思ひます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。



本年も「ささゆり」をよろしくお願ひいたします

成人(二十歳)おめでとうございます

1月7日(日)に令和6年南砺市二十歳の集い(福光地域)が中央会館5階で開催されました。南蟹谷地区での対象者は、

青木 音弥さん(土山)

白岩 捷さん(砂子谷)

仲里 彩乃さん(砂子谷)

山本 頼夢さん(蔵原)

この4名が二十歳の仲間入りをしました。おめでとうございます！

南砺市全体で434名、福光地域は141名(参加者117名)が成人されました。

成人された皆さん、ご家族の皆様、おめでとうございます。



◆南蟹谷消防団初水揚げ 1月6日(土)高窪地内



南蟹谷消防団のみなさんです。1月1日の地震後、すぐに地区内の見回りや避難所に待機をしてくださいました。とても心強かったです。ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

(一部写真は杉浦良久さん・清水米治さん・山崎慎一さんから提供していただきました。)

◆福寿大学 11月12日(日) 防災研修会(富山市四季防災館他) 地域づくり部会



偶然にも今回の地震と同じ震度5を体験してきました。その時は「こんなのがきたら大変だろうな」と他人事のように思っていました。が、実際はそんなものではない恐怖を感じました。まだまだ揺れが続いています。これ以上被害が出ない事を祈りたいと思います。



地震体験コーナー

◆第3回ささゆり食堂 11月19日(日) 健康・福祉部会



富山県くらしのアドバイザー「つくしの会」による詐欺防止の寸劇



美味しいね

◆福寿大学 12月13日(水) 講師 石村 修子さん 「寄せ植え」を楽しもう



◆壮年会 11月26日(日) 体育館雪囲い



12月30日(土) 門松づくり



◆左義長 1月13日(土) 蔵原地区



13日(土) 土山地区



14日(日) 小又地区



毎年寒い中、材料の準備から全て手作りで作られます。今年も交流センターに飾っていただきました。ありがとうございました。

